

「子どもとつくる楽しい授業の創造」  
－楽しく学び高め合う算数学習をめざして－

I 主題設定の理由

この度改訂された新学習指導要領の総則には、「児童に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識および技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。」「技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。」さらに、各教科、算数の目標には、「算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てる」とある。つまり、知識や技能を習得するだけでなく、それを活用して課題解決を図ること、そして、その過程において、具体的・体験的な操作活動や仲間と考えを交わらせる活動が重要であるということである。OECD や PISA テストで求められている力も、このような活動によって培われる力なのであろうが、こういうテストの結果を出すことを目標にするのではなく、子どもたちが楽しく主体的に学べる授業をとおして、つけさせたい力がついていくというのが本来の筋であると考えている。子どもたちが主体的に学ぶ授業においては、子どもたちの考えが自由に出され、互いに関わり合う中で、深められ高められていく。子どもたちの実態に合わせて、子どもたちと共に授業を作り上げていくことの大切さを感じる。

以上のことから、今年度は、

◎互いに交わりあいながら、高めようとする場を工夫する。

○具体的・体験的な算数的活動を重視する。

○個に応じた指導を工夫する。

の3点を視野に入れながら、研究を進めていきたい。そのことが、「楽しく学び、高め合う算数学習」にもつながっていくと考え、このテーマを設定した。

II 研究の内容

1 授業研究と検証

「互いに交わり合いながら、高めようとする活動の場を工夫する」授業

授業者 武井敏江教諭 (大和小学校)

学 年 第2学年

単元名 「筆算のしかたを考えよう」

話し合いより

- ・考える子を育てること。例えば、百の位の必要性に子どもたち自身が気付くことが大事である。また、例えば、筆算の答えが出た後に検証していくという流れにするなどして、操作活動についても必然性を持って取り組めるようにさせることも大切である。

- ・今回は、子どもの実態を踏まえ、半具体物として、牛乳キャップ（お金として）を使った。牛乳キャップを使うことで、多様な考え方が出さされ、隣同士の交流への意欲付けになったのはよいが、10のまとまり作り等、今後の発展のため、いつまでも具体ではなく、例えば、筆算の利便性、先人の知恵であるタイルの有用性等に気付かせ、抽象へとつなげていくことが必要である。
- ・体験をとおして考え分かっていくことがあるが、何を考えさせ、理解させていくのか吟味し、学びの本質に向かわせることが必要である。そういう観点から、具体物にするのか、半具体物を使うのかを決めればよい。

2 研究の視点にかかわった指導についての実践事例の発表及び情報交換  
部員が研究テーマ、研究の重点に関わる実践事例を持ち寄り、交流し合い、互いに学び合った。

3 小学校と中学校合同の交流授業研究会・情報交換

### Ⅲ 成果物

#### 指導案

- ・第2学年「筆算のしかたを考えよう」

#### 実践事例

- ・第5学年「面積の求め方を考えよう」
- ・第4学年「角の大きさを調べよう」
- ・第3学年「四角形を調べよう」
- ・第2学年「九九を作ろう」
- ・第4学年「割り算（筆算）」
- ・第3学年「あまりのある割り算」
- ・第2学年「新しい計算を考えよう」
- ・第2学年「足し算と引き算のやり方」

### Ⅳ 成果と課題

#### 1 成果

- ・操作活動を重視し実践することで、様々な考えが考え出され、表現しようとする意欲も高まるということが実感できた。
- ・テーマに関わった実践報告の場を設けたことで、他の先生方の考えが参考になり、自らの実践に生かしていくことができた。
- ・隣同士での発表（説明し合い）等、子ども同士が関わり合い高め合っていくためには、継続すること、日々の積み重ねが必要だということが実感された。

#### 2 課題

- ・情報交換は、日々の実践の力をつけていくためにも必要であるから、機会を増やすことが大事である。
- ・「交わり合い、高め合う」ためには、算数的な表現力というものがなければならない。「表現」ということに視点を当てて来年度も研究を進めていきたい。

（部長 原藤生府）